

**Neu**  
**LIVE ACTIVE**  
LiveActive 4DSP  
LiveActive 8DSP



PAシステム例

**LiveActive 4DSP+LS-8**

▶ **製品の特徴**

この度はNEU製パワードミキサー「LiveActive」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の性能を十分に発揮させ、未永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み頂き、大切に保管して下さい。

NEU(ニュー)「Live Active-ライブアクティブ」は4/8チャンネル入力を持ったパワードミキサーです。各チャンネルには、XLR3pinマイク入力端子と2pinフォン入力端子を備え、2バンドEQ(ハイ・ロー)・EFX・LEVELノブでサウンドを調整します。DSPエフェクトを備えており16種のプリセットとパラメーターによるかかり具合の設定とボリューム調整が可能です。マスターセクションにはマスターボリュームとAUXボリューム(リアパネルRCA入力端子)による音量の調整ができます。フロントには大型ハンドルを左右に備え、設置や運搬も容易になりました。付属のラックマウントキットによりラックケースにマウントすることができます。同シリーズのパッシブスピーカー「LS」とのセットで、どこでも簡単にセッティングして使用できるモバイルPAシステムとして、小規模イベントから店舗でのライブや会議など様々なシーンに活用することができます。

**製品内容**

パワードミキサー本体	1
電源ケーブル	1
ラック取り付け金具	2
取り扱い説明書	1
保証書	1



PAシステム例

**LiveActive 8DSP+LS-10**

# 安全上のご注意

ご使用前に、かならずよくお読みください。

ここに記載の注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただくためのもので、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然にふせぐためのものです。かならず遵守してください。

この取扱説明書は、使用者がいつでも見ることが出来る場所に保管してください。



## 警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容について記載しています。

### 電源 / 電源ケーブル



電源は必ず交流 100V を使用する。  
発電機やステップアップトランスなどは不安定なものがあります。火災や感電のおそれがありますので、使用には充分にご注意ください。



異なる電圧機器を混在しない。  
電圧・仕様の異なる機器を混在しないでください。



付属の電源ケーブルは、本機専用です。  
付属以外の電源ケーブルは、故障・火災・発熱などの原因となります。  
また日本国外での使用はしないでください



電源ケーブルをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり傷つけたりしない。ケーブルの上に重いものを載せない。  
電源ケーブルが破損し、感電や火災の原因になります。

### 設置



この機器を開けたり、内部部品を分解・改造したりしない。  
感電や火災、けが、やけど、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器の冷却口をふさがないように設置する  
ファンなどによる冷却をさまたげないように注意してください。また、高温を発する場合がありますので、可燃物等からはなして設置してください。

### 水に注意



この機器の上に、液体のはいたものを置かない。また、浴室や雨天・霧の屋外などの湿気の多い場所で使用しない。  
感電や火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。

### 異常に気づいたら



電源ケーブルやプラグが傷んだ場合、または使用中に音がなくなったり異臭や煙が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。  
感電や火災、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器を破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。  
感電や火災、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



## 注意

「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容について記載しています。

### 電源 / 電源ケーブル



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、かならずコンセントから電源プラグを抜く。  
感電や火災、故障の原因になることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを持たずに、かならず電源プラグを持って引き抜く。  
電源ケーブルが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

### 設置



この機器を移動するときは、かならず電源ケーブルなどをすべて外した上で行う。  
ケーブルを傷めたり、機器の破損や傷害の原因となります。



この機器を電源コンセントの近くに設置する。  
電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。長時間使用しない場合は、かならず電源プラグをコンセントから抜いてください。

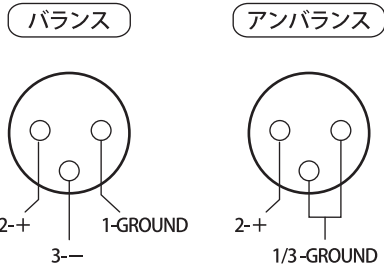


直射日光のあたる場所、日中の車内やストーブの近くなど、極端に湿度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多い場所では使用しない。  
機器が変形したり、内部の部品が故障する原因となります。



不安定な場所に置かない。  
この機器が点灯して故障したり、傷害につながる場合があります。

## 接続端子



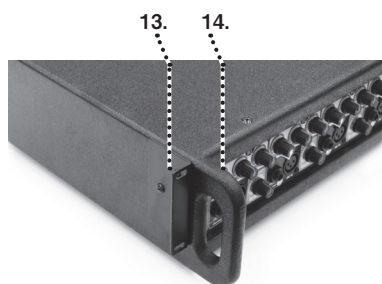
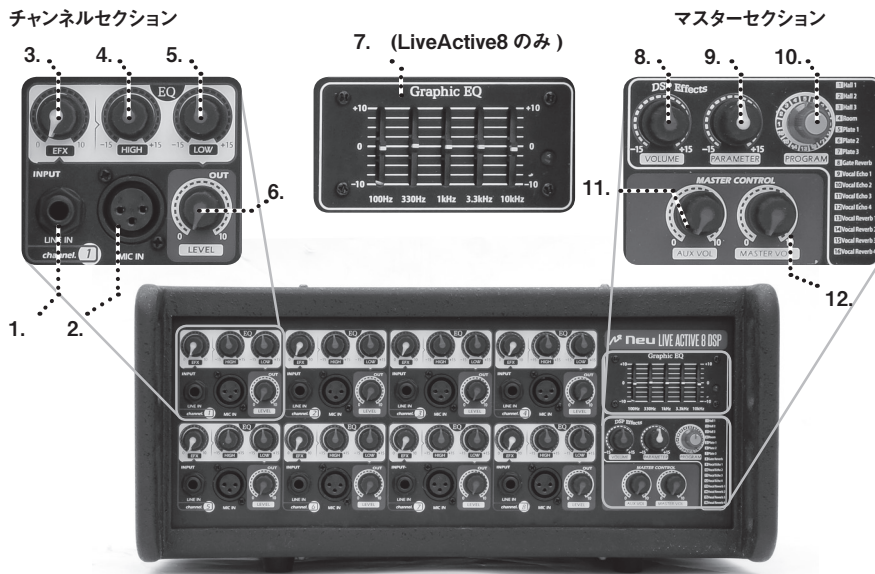
XLRバランスのオスメスの入力があります。オスメスはパラレルになっています。通常メス側に入力し、オス側は他のチャンネルや他のアンプに信号を送る場合に使用します。

もしアンバランスで入力する場合は、ピン1とピン3をショートさせたケーブルを使用してください。

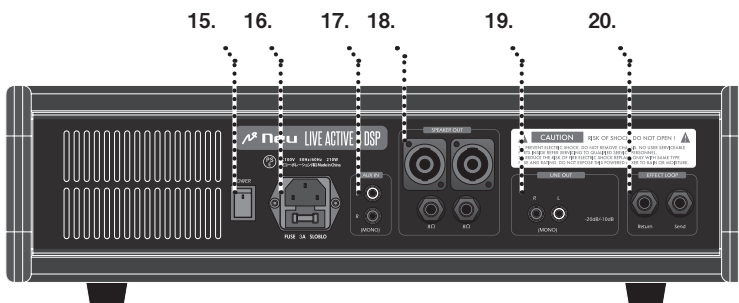
スピコンは1+1-のみ使用します。ブリッジモードで使用する場合は、ブリッジスピーカー出力に接続し、CH1と2のスピーカー出力にはなにも接続しないようにしてください。

## 各部の名称

フロント



リア



### フロントパネル

#### チャンネルセクション

- 1.LINE IN      ラインイン 2pin ラインレベル入力
- 2.MIC IN      マイクイン XLR マイクレベル入力
- 3.EFX          エフェクトノブ
- 4.EQ High      チャンネルイコライザー高域
- 5.EQ Low        チャンネルイコライザー低域
- 6.VOLUME      チャンネルボリューム
- 7.5バンドグラフィックEQ (LiveActive8のみ)

#### DSP エフェクトセクション

- 8.エフェクトボリューム
- 9.エフェクトパラメーター
- 10.プログラムセレクト

#### マスターセクション

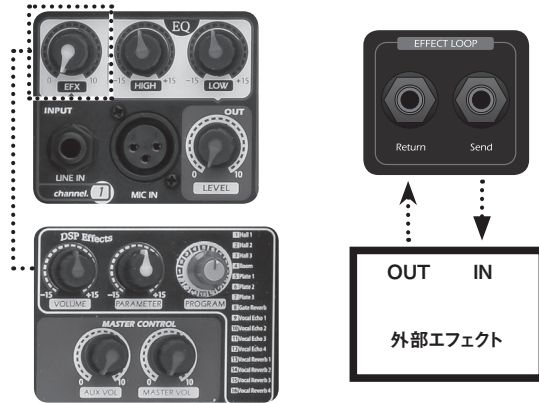
- 11.AUX ボリューム
- 12.マスターボリューム
- 13.ラック取り付け金具
- 14.大型ハンドル

### リアパネル

- 15.電源スイッチ
- 16.IEC 電源入力
- 17.AUX IN (MONO)      RCA フォノ
- 18.スピーカーアウト      NL4x2, 2pin x2
- 19.LINE OUT            RCA フォノ
- 20.エフェクトループ      センド/リターン

## 使い方

1. 本体とスピーカーを水平で安定した場所に設置してください
2. 全てのボリュームつまみを 0 の位置にしてください
3. リアパネルの [SPEAKER OUT] からスピーカーにケーブルで接続します
4. 電源ケーブルを接続し、電源スイッチを入れます
5. 入力チャンネルにマイクまたはラインを接続します
6. チャンネルボリュームとマスターボリュームを少しずつ上げながら、出力される音量を確認してください
7. 各チャンネルの 2 バンド EQ で高域や低域を調整してサウンドのバランスをとります / LiveActive8 は 5 バンド EQ で全体のサウンドバランスを調整できます
8. リアパネル [AUX IN] には外部オーディオプレーヤーからの入力ができます。AUX VOLUME から音量を調整してください
9. [LINE OUT] から外部レコーダーなどに音声を出力することができます
10. [EFFECT LOOP] の SEND から外部エフェクターへ音声を出しエフェクターの出力を RETURN に入力することでマスター出力に対してエフェクトをかけることができます。エフェクトのかかり具合は外部エフェクト側で調整してください



## DSP エフェクト

LiveActive は DSP エフェクトを内蔵しており、16 プリセットエフェクトを使用することができます

[PROGRAM] ノブで 1 ~ 16 を選択します

[PARAMETER] ノブでリバーブの深さやエコータイム等のかかり具合を調整します

[VOLUME] ノブでエフェクト音量の出力を調整します

各チャンネル [EFX] ノブでそれぞれにかかるエフェクトのボリュームを調整してください

1	ホール 1	9	ボーカリエコー 1
2	ホール 2	10	ボーカリエコー 2
3	ホール 3	11	ボーカリエコー 3
4	ルーム	12	ボーカリエコー 4
5	プレート 1	13	ボーカルリバーブ 1
6	プレート 2	14	ボーカルリバーブ 2
7	プレート 3	15	ボーカルリバーブ 3
8	ゲートリバーブ	16	ボーカルリバーブ 4

## ラックマウント

EIA19インチ標準ラックにマウントすることができます。本体側面に付属のラックマウント金具をネジで取り付けます。マウント時には放熱を第一に考え、上段下段に市販の通風パネルを取り付けることをおすすめします。

EIA19 インチラックマウント例



## スペック

	Live Active8 DSP	Live Active4 DSP
タイプ	8ch パワードミキサー	4ch パワードミキサー
電源	AC100V,50/60Hz	AC100V,50/60Hz
消費電力	240W	210W
最大出力	100W4 Ω /RMS	100W4 Ω /RMS
出力端子	2p x2, NL4x2	2p x2, NL4x2
入力端子	フォン /XLRx8, RCA ライン x2, センドリターン	フォン /XLRx4, RCA ライン x1, センドリターン
エフェクター	DSP 16 プリセット	DSP 16 プリセット
イコライザー	マスター 5 バンド、 各チャンネル 2 バンド	各チャンネル 2 バンド
寸法	W482xD377xH193mm	W482xD377xH117mm
重量	12kg	10kg

## メンテナンス / サポート

1. 前面背面の通気口に、ほこりや汚れがたまらないようにしてください。もしたまっている場合は、必ず取り除いて通風を確保してください。
2. コネクターの破損に気をつけてください。汚れの付着を避けてください。
3. 電源ケーブルにキズが無いかチェックします。キズがある場合、修理を依頼してください。
4. 清掃をおこなう場合、電源ケーブルを抜いてください。
5. 常に清潔にたもってください。外装に付着した汚れは、柔らかく起毛していない布で拭き取ってください。アルコールや溶剤は使用しないでください。
6. ユーザーによって交換できる部品はありません。
7. 修理については、販売店にご相談ください。

※仕様・外観等は改良のため、予告なく変更される場合があります。

この取扱説明書は、IDE コーポレーション有限会社が制作しています。

発売元：IDE コーポレーション有限会社

〒530-0015 大阪市北区中崎西 1-1-24 / TEL06-6630-3990

修理・サポートは販売店までご相談下さい。